

「明るい日田」は皆様の
 浄財で発行されています
 ご支援よろしく願います

国保税を「協会けんぽ」並みに

高すぎる

全国知事会も国に1兆円の公費投入を要望 1兆円で平等割・均等割を廃止し大幅な減額を

12月議会の一般質問で大谷市議は、市が高すぎる国保税の大幅な負担軽減のために国に1兆円の公費投入を要望することや、子育て支援として子どもの均等割を軽減し、国保税を引下げる市の取組を求めました。

日本共産党は国費1兆円 全国市長会は国費3400億円を国保財政に投入し、国保の平等割(世帯割)、均等割(家族人数割)をなくし、協会けんぽ(中小企業の従業員が加入する保険)並みに近づけ、大幅な保険料の負担軽減を提案しています。全国的には平等割・均等割の総額はおよそ1兆円です。

大谷市議は「1兆円の投入で平等割・均等割の廃止を要望したらどうか」と質問。福祉保健部長は「全国知事会も平等割・均等割の同時廃止を決めていないので市が要望する考えはないが、答弁。」と答弁。

部長は「必要な財源は約3千万円」と答弁。市長は「子育ての均等割の廃止を国に要望している。社会保障の費用増や消費税の改正を見ながら判断したい」と答弁。



上水道の漏水が近年増加して、昨年は約10%、52万8千トンが漏水しています。金額にすればその額は年間7千万円以上がです。

大谷市議は上水道の漏水量の増加の原因と対策を質問。

上下水道局長は「漏水の原因は経年劣化が主な要因。H29年は71キロ調査し88ヶ所が漏

水。このうち毎時100リットル以上の40か所は改修。H30年度は65キロ調査し30か所を確認。そのうち100リットル以上の16か所を随時修繕している。昨年比5万トンの改善。計画的に漏水調査し減少させる」と答弁。

共同管の漏水も市で修繕を大谷市議は「6月議会で他市の状況を調査すると言っていたがどうか、来年から実施できないか」と質問。

局長は「漏水の多くは市の配水管での漏水であるが、共同管の漏水対策も課題と考えているので、もう少し他市を調査し検討したい」と答弁。

漏水量は年間7千万円か

収入	家族構成	所得	課税所得	現行の国保税の年額 (A)	所得割のみの年税額 (B)	差額 (A)-(B)	協会けんぽの保険料
400万円	40代夫婦、子ども2人	266万円	233万円	513,000	326,600	186,400	241,332
400万円	30代夫婦、子ども2人	266万円	233万円	363,900	270,000	93,900	209,304
240万円	40代単身世帯	150万円	117万円	239,100	164,000	75,100	141,960

収入ランクと家族構成の違いによる現在の税率に基づく国保税額(A)、平等割、均等割をなくし所得割だけにした場合は網掛けをした(B)、(A)-(B)は大きな負担の軽減になることを示しています。中小企業加入の協会けんぽの保険料に近づきます。